



スローガン

汐路

自分も周りの人も大切に、仲間とともに学びにチャレンジ！
～鳴西PRIDEを育みながら～

鳴門市鳴門西小学校
校長室だより No.30
令和6年11月14日(木)

1 鳴門市人権教育推進強調月間(11月10日～12月10日)

毎年、この時期は、市民あげて人権尊重の意識を高める期間となっています。学校でも、日々の人権学習はもちろん、鳴門市人権文化祭に向けての作品づくりなどもします。

今年度の人権文化祭の期間は、11月16日(土)～11月24日(日)までとなっていて、鳴門市の各所にて、人権について考えた思いや願いのこもった作品が展示されています。

本校の学校の取組パネルやポスターや作文などの児童の代表作品は、大麻町の人権福祉センター3階に飾られています。せっかくの機会ですのでまた、ご都合がつかましたら、お子さまといっしょに見学に行ってみてください。他の小学校のみならず、保育所、幼稚園、中学校、高等学校、行政機関等のパネルもあります。真剣に見ていくと、かなりの学びになります。人権福祉センター以外にも立岩集会所にも多くの作品が展示されています。私も毎年、各会場をめぐって学ばせていただいています。

2 12月4日(水)の午後は、人権学習参観日!

12月4日(水)の午後1時45分から、各学級にて、人権学習参観日を予定しています。この機会にお子さまといっしょに人権の尊さについて学びませんか。

みなさん一人一人の幸せを阻むもの、それが編みであったり、差別であったりします。「自分とは関係ない」と思う方もおられるかも知れませんが、無意識のうちに、マイナス的な言葉を発することによって相手の心を傷つけてしまったり、当たり前のように存在するしきたりや慣習を信じてしまうことが、差別を温存、助長することにつながってしまったりしていることも多々あります。授業を媒介として、ご家庭で人権について話し合ってみるのもいいかもしれません。

どうぞよろしく願いいたします。

3 識字生のおばあちゃんから届く年賀状!

今から二十数年前になりますが、共学者として、8年間ほど識字学級で学ぶ機会がありました。部落差別によって奪われた文字、そして、人間の尊

厳まで、奪われてしまったおばあちゃん。でも、そんな中でも真っ向から差別に立ち向かい、文字を獲得し、人間解放していった生き方に心を大きく動かされた私でした。そのおばあちゃんから毎年賀状が届きます。コロナ禍においてもとぎれなかったとても大切なつながりです。おばあちゃんの文面には、いつも当時のことで、いろいろな視点からの温かいメッセージを届けてくださいます。でも、それが自分の元気の源の一つになっています。厳しい差別を乗り越えたたくましさや、本当の人間のぬくもりを感じることができます。そんなおばあちゃんを悲しませたくないです。今年も、どんな内容で届くのか今から楽しみにしています。

4 人権についての学びは生涯を通して!

これまでの教職生活の中で、数々の人権についての研修に参加させていただきました。前任校では、年間5回ほど組まれた人権大学講座研修に参加し、人権の今日的な課題について教職員仲間や地域の方々と学びました。80歳を越える方もいつも最前列で参加されて、講師の方の話をメモにしっかり記録しているその学ぶ姿に心を打たれ続けたのが思い出されます。また、数年前に鳴門市で参加したフォーラム研修の中でご高齢の方から、「生まれは変えることはできないが、生き方は変えることができる」という重みのある発言をお聴きし、感動したこともありました。この秋も何か一つでも心の琴線を揺さぶるものに出会い、自分の心に楔を打ち込みたいと思っています。

5 潮の会のみなさま、樹木の剪定をありがとうございました。!

一昨日、潮の会のみなさまが、早朝より学校周辺の樹木について、剪定をきれいにしてくださいました。前々から気にはなっていたものの、剪定できずにいました。本当に助かりました。ありがとうございました。紙面を借りて、お礼を申しあげたいと思います。

(文責：校長 内田 洋一)

